

花をたくさんの方に飾つていただき、
香りや季節をより身近に
感じてもらえると嬉しいです。

豊能町牧にて主に花の栽培や山菜などの収穫をされている瀬尾まどかさん。
寒暖差がある自然豊かな里山で育てられた花たちは生き生きとした美しい色合いに。



ビニールハウスの中で苗を育てている様子



瀬尾まどかさんとお子さん



地域の農を支える生産者

豊能町牧地域

せお 瀬尾まどか さん

やつぱりお花が好き。
花屋での経験も

自分で育てた物だけで
花束が出来る喜び

「箕面市に住んだことがきっかけで、より一層花が好きだと気付きました。」

小さい頃から花に囲まれて育った瀬尾さん。お父様が野菜や米を作りながら花の栽培もさせていたので、畑一面のダリアやコスモス、広い土手一面に植えられた数十本の紫陽花を見て過ごさせていたようです。

その後、花と関係のない職種に就職しましたが、スキルアップにと転職を決意された時に「自分は何が好きなのだろう」と考え、「小さい頃から身近な存在だった花がやつぱり好き。」と感じた事がきっかけで、新大阪にある花屋に転職。お花の手入れや注文を受けた花束などもラッピングされていました。毎日花と接するうちに、「どんな栽培方法で育てられたのだろう。」と思うよう。結婚後は箕面市に住み、5年前に実家のある豊能町に家族で帰つてこられ、

当時はパートで働きながら、花の栽培や山菜採りを徐々に手伝うようになりました。今春からは本格的に花の栽培や山菜採りを行いながら、3人の子育てや、旦那様が栽培している野菜作りも手伝い、忙しい毎日に。一度実家を離れ箕面市に住んだことで、当たり前の存在だった花の大切さを実感し、より花が好きということに気づけたそうです。

「花屋で働いていた時は、すでに生長し出荷された花を入荷し、花束にしていましたが、今は自分で育てた花やハーブだけで花束が作れることが嬉しいです。」とのこと。徐々により多くの花を栽培出来るようになつてきています。

これから目標は、近くで綺麗に花を栽培されている先輩生産者の方のような花畠を栽培することと、年中綺麗な花を栽培すること。

「まだまだ駆け出しながら、時期的に自分の育てた花だけで花束が出来ない時がありますが、いずれは、年中自分が育てた花やハーブだけで花束が出来るようになりたいですね。」と瀬尾さんは今後の意気込みを語ってくださいました。

多くの方から教われる 素晴らしい環境

「良い花を栽培する為には、ちゃんとこまめに世話をすることだと思います。手掛けた分、より良い物が出来ると思います。」

花の栽培で失敗することもあるそうですが、例え、支柱を立てるのが遅れてしまい、風や雨で倒れて茎が曲がったり、ダリアなどの球根の花は、水はけが悪いと腐ってしまうことも。ちなみに、ダリアの球根は毎年、球根の横に子球根が出来るのでそれを分

けて植えるそうです。他にも、豊能町の冬は雪が積もるほど寒くなる地域です。寒暖差があることで花の色彩がより鮮やかになりますが、育てる品種も寒さに強い品種を植えるなどの工夫も必要に。栽培で困った時は、お父様や近くで花を栽培される先輩生産者の方がアドバイスや、苗を分けて下さるなど心強いサポートがあり、「失敗の都度勉強させて頂いてるので、とてもありがたいです。」と話してくださいました。

素敵な花の香りで 季節を感じてみませんか

「農産物直売所などは中間卸売り業者が不要ない分、お花の価格も求めやすいので気軽にご自宅や職場に花を飾つて頂けると嬉しいです。私も箕面に住んでいた時は農産物直売所でお花を購入して飾っていました。お花のいい香りや季節をより身近に感じてもらえたと思います。」と瀬尾さんは話してくださいました。ちなみ

に、切り花を長持ちさせる方法は、花の種類によつても違うそうですが、こまめな水替えや余分なつぼみや葉を取り除く事が効果的だそうです。是非、ご自宅や職場にお花を飾つてみてはいかがですか。

こすだい庵
憩いの場として
お父様となづか
作られました。

